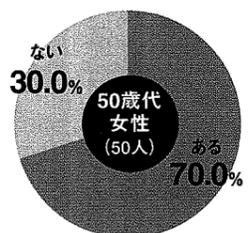
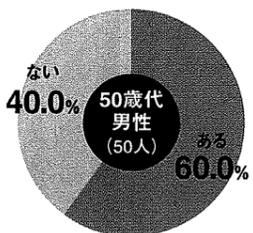
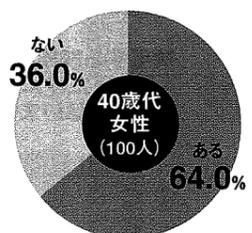
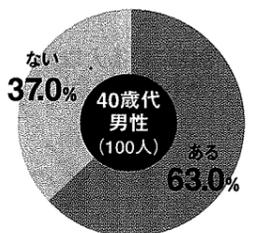
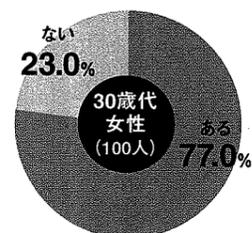
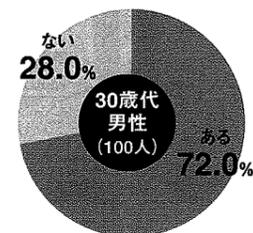
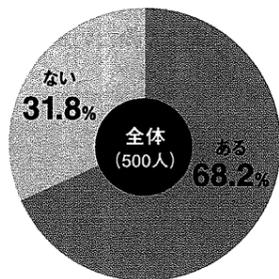


Q2
生きている間に「これだけはやっておきたい」ことはありますか？



「子どもは引き取り手を探すが紹介している」という声が多かった。次いで、「生きていく間に『これだけはやっておきたい』ことの有無」(Q2)を聞いてみた。すると、全体の68.2%が「ある」と回答。同年代で比較してみると、各年代とも、女性のほうが男性よりも懸念する声が多数を占めた。

「子どもは引き取り手を探すが紹介している」という声が多かった。次いで、「生きていく間に『これだけはやっておきたい』ことの有無」(Q2)を聞いてみた。すると、全体の68.2%が「ある」と回答。同年代で比較してみると、各年代とも、女性のほうが男性よりも懸念する声が多数を占めた。

突然の余命宣告。あつてほしいことだが、誰にでもありうることだ。素直に受け入れるのか、それとも徹底抗戦するのか。最初に、「どんな手段を尽くしても延命を望むか」どうか聞いてみた「Q1」。

「延命を望む」と回答したのは、15.6%に過ぎず、「望まない」が58.0%に上った。男女、年代別に見ても、一様に「望まない」が「望む」を大きく上回った。

「延命を望む」と回答したのは、15.6%に過ぎず、「望まない」が58.0%に上った。男女、年代別に見ても、一様に「望まない」が「望む」を大きく上回った。

「延命望まず」が6割

「延命を望む」と回答したのは、15.6%に過ぎず、「望まない」が58.0%に上った。男女、年代別に見ても、一様に「望まない」が「望む」を大きく上回った。

あなたが宣告されたら... 余命半年 どう生きるか?

現代日本人の死生観を徹底研究

もしも、余命が半年であると告げられたら、あなたは何を思い、何を望むだろうか。本誌では、働き盛りの30歳代から50歳代までの男女500人を対象にアンケート調査を実施し、希望などを聞いた。

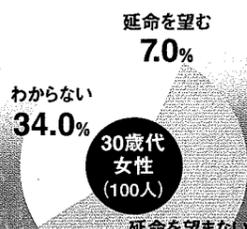
本誌 関仁巨/協力 GoResearch

「ある」を選択する率は高かった

「ある」を選択する率は高かった。家族に迷惑をかけたくない、周囲の過重な負担を心配する声や、「何事も自然がいちばん」「寿命というものを冷静に受け止めたい」など運命に従いたいという声が多かった。

※注 各設問は、自分が「余命半年」であると宣告されたと仮定して回答してもらった

Q1
どんな手段を尽くしても延命を望みますか？



映画化もされた秋元康さんの小説『象の背中』や、ジャック・ニコルソンとモーガン・フリーマン主演の映画『最高の人生の見つけ方』、高視聴率を上げたドキュメンタリー『余命1ヶ月の花嫁』など、このところ「余命」宣告後の生き方をテーマにした作品がメディアをにぎわしている。これらの作品に感動したという人も多いことだろう。では、自分自身がその立場に置かれたら、いったい何を望むのだろうか。本誌では、特に働き盛りの世代を対象にアンケート調査を実施することにした。

アンケートは、N-TTリサーチの「gooリサーチ」(<http://research.goo.ne.jp/index.html>)と共に

命だから(40歳代)など、ベットの
に関する要望も多かった。
続いて、男性の回答を見てみ
よう。女性も同じだが、独身者
の場合は、やはり「結婚」や「子
どもを持ちたい」という回答が
少なくない。

「子どもと遊ぶ」「親孝行」など
家族関連の希望ももちろんある
が、男性の場合は、「宇宙旅行」
や「二足歩行ロボットの操縦」(30
歳代)、「戦闘機に乗りたい」(30
歳代)など、子どものころの夢の
実現を望む声も目に付く。
その一方で、より現実的に、
「CDを作りたい」(30歳代)、「書
きためた小説を出版したい」(40

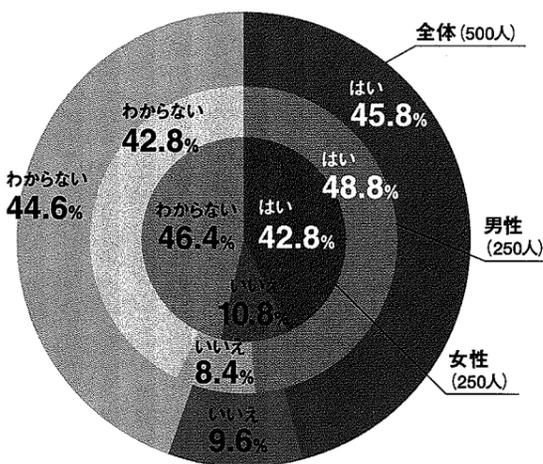
「秋葉原。オタクの聖地と呼ば
れる場所がどんなものか知りた
い」(30歳代男性)、「全国の競馬
場。競馬が好きなので」(30歳代
男性)、「富士山。日本一の地に
足跡を残しておきたい」(40歳代
男性)、「屋久島。縄文杉を見た
い」(30歳代女性)、「宮崎県高千
穂地方。古代神話が好きなので」
(40歳代女性)、「四国の霊所。絶
対に回りたい。功德を得たい」
(50歳代女性)。

「CDを作りたい」(30歳代)、「書
きためた小説を出版したい」(40
歳代)など。
ユニークなところでは、「ハレ
ム生活」(30歳代)、「全国の目立
友達を訪ねる。今まで付き合っ
てもらった礼を述べたい」(40歳
代)、「ギャンブル。有り金すべて
を賭けての大博打がしたい」(40
歳代)、「性別適合性転換手術。
異性の体を体験してみたい」(40
歳代)など。

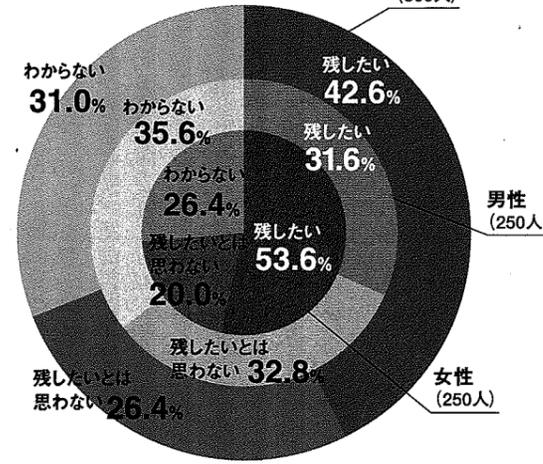
「秋葉原。オタクの聖地と呼ば
れる場所がどんなものか知りた
い」(30歳代男性)、「全国の競馬
場。競馬が好きなので」(30歳代
男性)、「富士山。日本一の地に
足跡を残しておきたい」(40歳代
男性)、「屋久島。縄文杉を見た
い」(30歳代女性)、「宮崎県高千
穂地方。古代神話が好きなので」
(40歳代女性)、「四国の霊所。絶
対に回りたい。功德を得たい」
(50歳代女性)。

「秋葉原。オタクの聖地と呼ば
れる場所がどんなものか知りた
い」(30歳代男性)、「全国の競馬
場。競馬が好きなので」(30歳代
男性)、「富士山。日本一の地に
足跡を残しておきたい」(40歳代
男性)、「屋久島。縄文杉を見た
い」(30歳代女性)、「宮崎県高千
穂地方。古代神話が好きなので」
(40歳代女性)、「四国の霊所。絶
対に回りたい。功德を得たい」
(50歳代女性)。

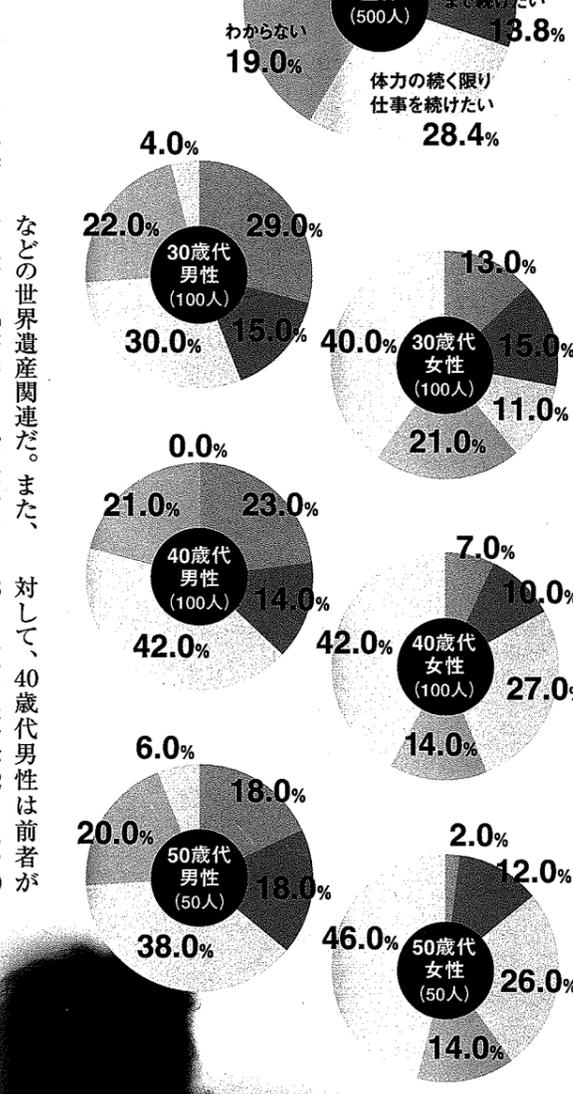
**Q7 人生最期の瞬間は、
できれば自宅を迎えたいですか?**



**Q8 遺言を残したいと
思いますか?**



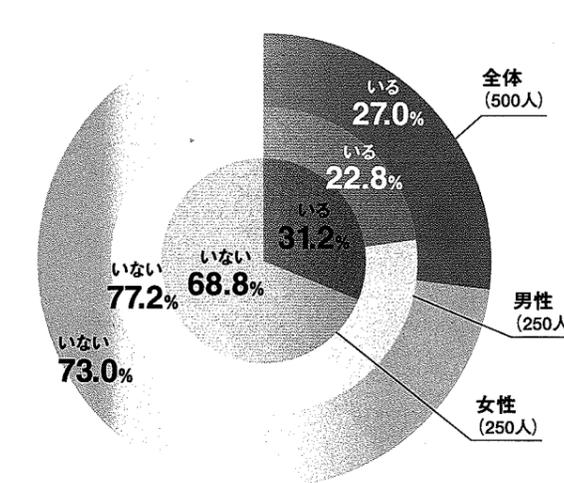
**Q6 現在の仕事を
今のまま
続けたいですか?**



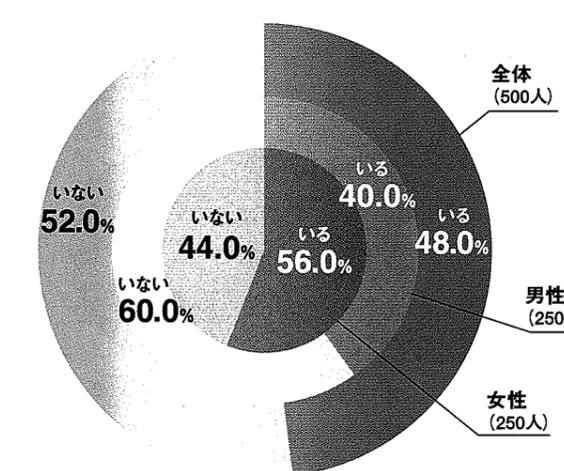
「秋葉原。オタクの聖地と呼ば
れる場所がどんなものか知りた
い」(30歳代男性)、「全国の競馬
場。競馬が好きなので」(30歳代
男性)、「富士山。日本一の地に
足跡を残しておきたい」(40歳代
男性)、「屋久島。縄文杉を見た
い」(30歳代女性)、「宮崎県高千
穂地方。古代神話が好きなので」
(40歳代女性)、「四国の霊所。絶
対に回りたい。功德を得たい」
(50歳代女性)。



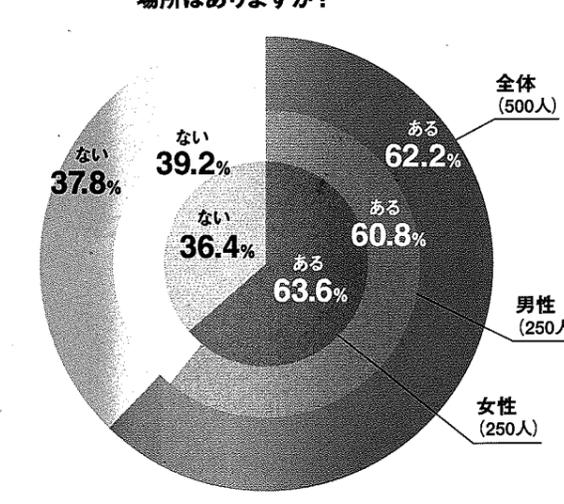
Q3 会ってみたい著名人はいますか?



**Q4 同居する家族など普段そばにいる人以外で、
「この人だけは会って別れを告げたい」
という人はいますか?**



**Q5 過去に行ったことのある場所も含め、
生きているうちに訪ねてみたい
場所がありますか?**



「子どもと遊ぶ」「親孝行」など
家族関連の希望ももちろんある
が、男性の場合は、「宇宙旅行」
や「二足歩行ロボットの操縦」(30
歳代)、「戦闘機に乗りたい」(30
歳代)など、子どものころの夢の
実現を望む声も目に付く。
その一方で、より現実的に、
「CDを作りたい」(30歳代)、「書
きためた小説を出版したい」(40

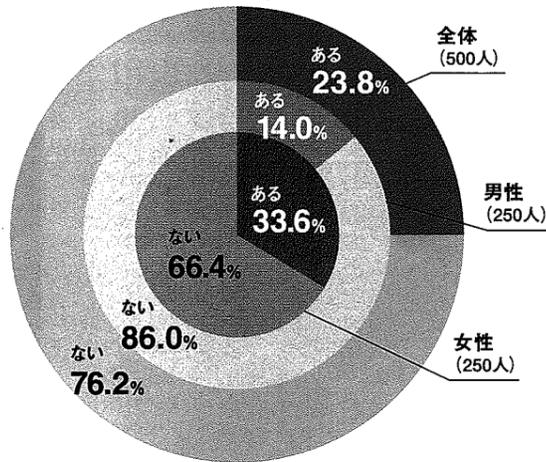
「秋葉原。オタクの聖地と呼ば
れる場所がどんなものか知りた
い」(30歳代男性)、「全国の競馬
場。競馬が好きなので」(30歳代
男性)、「富士山。日本一の地に
足跡を残しておきたい」(40歳代
男性)、「屋久島。縄文杉を見た
い」(30歳代女性)、「宮崎県高千
穂地方。古代神話が好きなので」
(40歳代女性)、「四国の霊所。絶
対に回りたい。功德を得たい」
(50歳代女性)。

「秋葉原。オタクの聖地と呼ば
れる場所がどんなものか知りた
い」(30歳代男性)、「全国の競馬
場。競馬が好きなので」(30歳代
男性)、「富士山。日本一の地に
足跡を残しておきたい」(40歳代
男性)、「屋久島。縄文杉を見た
い」(30歳代女性)、「宮崎県高千
穂地方。古代神話が好きなので」
(40歳代女性)、「四国の霊所。絶
対に回りたい。功德を得たい」
(50歳代女性)。

「秋葉原。オタクの聖地と呼ば
れる場所がどんなものか知りた
い」(30歳代男性)、「全国の競馬
場。競馬が好きなので」(30歳代
男性)、「富士山。日本一の地に
足跡を残しておきたい」(40歳代
男性)、「屋久島。縄文杉を見た
い」(30歳代女性)、「宮崎県高千
穂地方。古代神話が好きなので」
(40歳代女性)、「四国の霊所。絶
対に回りたい。功德を得たい」
(50歳代女性)。

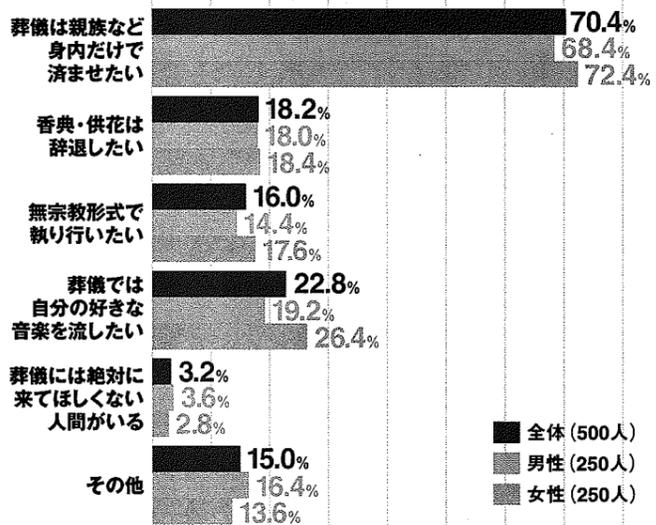
「秋葉原。オタクの聖地と呼ば
れる場所がどんなものか知りた
い」(30歳代男性)、「全国の競馬
場。競馬が好きなので」(30歳代
男性)、「富士山。日本一の地に
足跡を残しておきたい」(40歳代
男性)、「屋久島。縄文杉を見た
い」(30歳代女性)、「宮崎県高千
穂地方。古代神話が好きなので」
(40歳代女性)、「四国の霊所。絶
対に回りたい。功德を得たい」
(50歳代女性)。

Q9 遺品や遺産の取り扱いについて、何らかの要望はありますか？

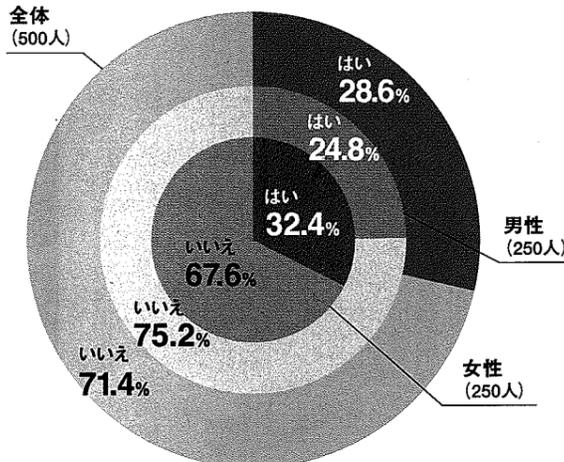


Q10 葬儀に関して、あなたの希望にあてはまるものはどれですか？

※該当する項目をすべて選択



Q11 自身の遺骨をどこかに散骨したいと思いますか？



半分弱が希望 最期の時は自宅で

家庭で療養しながら、自宅で死を選べるようにと、一昨年4月、「在宅療養支援診療所制度」が導入された。まだ診療所数や看取りの体制は十分に整っていないが、自宅で最期を迎える道は開けた。そこで、「人生最期の瞬間を迎えたい場所」について聞いてみた「Q7」。

調査前は「自宅で」と望む人が大半かと予想したが、「はい」を選択したのは、45.8%にとどまった。「わからない」がほぼ同率となつた。

「家庭で療養しながら、自宅で死を選べるようにと、一昨年4月、「在宅療養支援診療所制度」が導入された。まだ診療所数や看取りの体制は十分に整っていないが、自宅で最期を迎える道は開けた。そこで、「人生最期の瞬間を迎えたい場所」について聞いてみた「Q7」。

調査前は「自宅で」と望む人が大半かと予想したが、「はい」を選択したのは、45.8%にとどまった。「わからない」がほぼ同率となつた。

「ホスピスケア研究会」に学ぶ 大切な人が余命半年になったら…

どんなに心の強い人でも、実際に余命を宣告されたら、平静ではいられないものだ。そんな時、大きいのは家族の存在だ。残された時間を充実させるための家族としての心構えを専門家に聞いた。

任意団体「ホスピスケア研究会」の平野友子さんは、今回の本誌の調査を「良い試み」と評価したうえで、こう話す。

「健康なうちから、自分の死について意識したり、やりたいことについて夫婦で話したりするのは、非常に良いことです。普段から、それができていれば、いざという時、何を目標とするのか、ヒントを見つけやすいと思います」

同会は、がん終末期の患者と家族のためのケアのあり方を研究する団体で、「大切な人が「余命6カ月」といわれたら?」(河出書房新社)などの監修書がある。平日には、「がん電話相談」(午前11時～午後5時) 03・3984・3291)を実施しているが、家族からの電話でよく、「本人に何をしたいか、何を避けたいかわからない」という相談を受けることがある。

そんな場合、本人に率直に聞かせることが大切だと言え

「健康なうちから、自分の死について意識したり、やりたいことについて夫婦で話したりするのは、非常に良いことです。普段から、それができていれば、いざという時、何を目標とするのか、ヒントを見つけやすいと思います」

同会は、がん終末期の患者と家族のためのケアのあり方を研究する団体で、「大切な人が「余命6カ月」といわれたら?」(河出書房新社)などの監修書がある。平日には、「がん電話相談」(午前11時～午後5時) 03・3984・3291)を実施しているが、家族からの電話でよく、「本人に何をしたいか、何を避けたいかわからない」という相談を受けることがある。

そんな場合、本人に率直に聞かせることが大切だと言え